

令和5年度国際先端科学技術研究機構（IROAST）事業 「先導的研究推進のための客員教授等招へいプログラム」募集要領

熊本大学では、本学の個性と強みを形成する世界レベルの先端研究を先鋭化することで、大学全体の機能強化を主導し、次世代を担う研究領域を育むことを目指しています。

また、国際先端科学技術研究機構では、部局の枠を乗り越えて、国内外の優れた人材を結集し、国際共同研究及び融合研究を推進するとともに、先端研究を組織的に展開できるリーダー人材の育成に取り組むことにより、本学が世界と伍する諸研究を更に進展させることを目標に掲げています。この目標を達成するため、以下の要領で公募します。

1. 目的：

世界トップレベルの海外大学・研究機関より世界一線級の客員教授等（客員教授・客員准教授）を招へいし、国際セミナー・シンポジウムの開催、国際共同研究及び融合研究の推進等を通じて、本学の自然科学分野における国際的研究力強化推進を図るための取組を支援します。

2. 募集対象：

国際先端科学技術研究機構の客員教授等（重点領域【1】のいずれかに該当）として称号を付与された者の招へい旅費を支援する。なお、客員教授及び客員准教授としての主な任務を遂行できる取組を優先する。

【主な任務】

- (1) 国際セミナーの開催【必須】
- (2) 国際共同研究を推進し、成果としての国際共著論文の投稿
- (3) 本学と本務先の大学・研究機関との学術及び学生交流の推進
- (4) その他自然科学分野における研究のグローバル化に資する事項
(例：国際交流事業への応募等)

【1】重点研究領域「Well-being 社会構築のための科学技術」

- (1) 人に寄り添う技術
バイオ・医療、低環境負荷、生物環境学等
- (2) レジリエンスの強化
安全・安心社会、防災・減災等
- (3) 先進材料領域
- (4) データサイエンス・AI 領域

3. 申請対象者：

国際先端科学技術研究機構の客員教授等の受入教員

4. 旅費支給対象者、支援期間及び支給経費

- (1) 旅費支給対象者：本研究機構の客員教授等
- (2) 支援期間：申請に基づいて審査
- (3) 支給経費：申請に基づいて審査（上限額 申請者一人当たり400千円程度）
支給の対象費目は本学旅費規則に基づく旅費とするが、上限額を超えて滞在する場合の経費は、申請者が負担するものとする。
なお、招へいの際の講演等に係る謝金及び会議費は本研究機構では負担しない。
- (4) 招へい期間については、令和6年2月29日までに完了する計画のみ対象とする。

5. 申請手続

次の書類を「6. 申請書提出先」まで提出すること。

- (1) 申請書（様式1）（和文、英文どちらでも可）
- (2) 予定経費に係る見積書（様式自由）
- (3) 被招へい者（客員教授等）との主要な往復文書等（メールでのやりとりも可）

募集回数	募集時期	提出期限
第1回（終了）	令和5年4月	令和5年6月16日（金）
第2回（終了）	令和5年8月	令和5年9月25日（月）
第3回	令和5年12月	令和6年1月10日（水）

6. 申請書提出先

自然科学系事務課国際先端科学技術研究機構担当

Email : szk-kiko@jimu.kumamoto-u.ac.jp

7. 選考

研究機構長及び副研究機構長において審査し決定する。選考結果は、招へい時期に応じてすみやかに通知する。

8. 報告

本事業により招へいされた客員教授等と受入教員は、実施後1ヶ月以内に報告書（様式2）（英文）を提出しなければならない。

（本件問い合わせ先）

自然科学系事務課国際先端科学技術研究機構担当
佐藤（内3362）